



アパレル

に

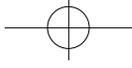
ワイルドな

隠しタマ

発見!



CG,T.Suganuma



SCOOP 22

Avenir



(写真は現行モデル)

待望の直噴ディーゼル搭載! ハイラックス・サーフ MC情報

7月5日をもってオーダーストップとなったサーフ。スクープ班がその理由を調べたところ、盆明けをメドにMCが行われることが判明した。今回のMCで見逃せないのは直噴ディーゼルエンジンの搭載だ。現行の1KZ-TE型に代わる新開発ユニットで、最高出力170psを發揮するとの情報も得ている。そのほか、新デザインのメッキグリルやマルチリフレクタータイプのリアコンビランプ、新ボディカラーなど、細部にわたって手が加えられる。

バリエーション展開ではドレスアップ志向ユーザーを狙った低価格の「SSR-V」が復活し、2WDモデルにも新たにワイドボディが登場。なお、新開発ディーゼルユニットは近いうちにブラドにも搭載される可能性が高い。

インパネを一新し、エアロバンパー装着で完全なオンロードワゴンに進化したアベニール。5月に行われたMCではコンセプトがいちだと明確になり、このまま快速乗用ワゴンとして育つのかと思いきや、RVテイストあふれる追加モデルがスタンバイしていることがわかった。

ウワサを聞きつけたスクープ班が情報網を駆使して調査を行ったところ、追加されるのはレガシイ・ランカスターやナディア・タイプSUをターゲットにしたクロカン風モデルであることが判明。デビュー時期は下半期はじめ、10月が濃厚だ。

現行モデルとの大きな違いは、まず大径タイヤ装着による車高アップ。高い走破性が望める。つてのは言い過ぎだが、ちょっとした林道で下回りを傷付けるといった心配は低減されるだろう。

同時にサイドガーニッシュとオーパーフェンダーも装備され、既存グレードにはないワイルド・テイストがかもし出される。なお、オーパーフェンダー装着にともなって全幅が拡大し、3ナンバー幅になる可能性が高い。パルサーSEI S RVに採用されている背面スベアタイヤキヤリアはさすがに設定されない方向だが、現時点では可能性がゼロとは断言できない。

内装は専用シート表皮で差別化が図られ、こちらでもRVらしさが演出される。ラゲッジルームのカーベットも含めて、室内を汚れから守る防水・防汚処理の素材が用いられることも考えられる。

8月にはラシオンがモデル廃止されるが、なんちゃってクロカンはこんなカタチで日産クイックナックの中に生き残る。新型クロカン「Z R」も11月にデビューを控えており、日産のRV増強計画は現在も進行している。



ランカスター



ナディアタイプSUとの

真っ向勝負に日産が挑む!

10月に追加されるアベニール「クロカン風」モデルの予想CG。大径タイヤやサイドガーニッシュ、オーパーフェンダーでワイルドなルックスを手に入れる。

